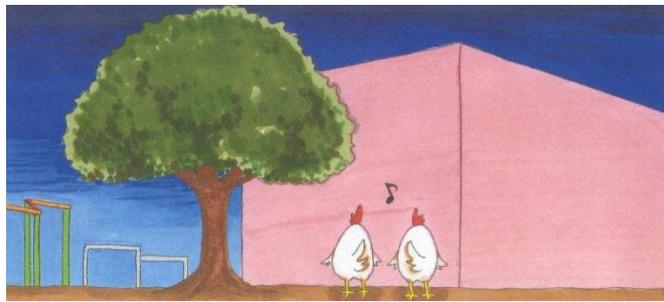


園だより



令和5年10月1日

社会福祉法人新田保育園

園長 大西 陽子

第2のおうち

新型コロナウイルスの規制が緩和されたこの夏、数年振りにたくさんの卒園児との再会がありました。今年も夏期アルバイトは卒園児が中心でした。ひっくり返って泣いていたところを一緒に懐かしみながら、現在の話にも花が咲き、たくましく生きていと目を細めました。加えて夏休み中の小学生が兄弟の送迎について来たり、ボランティア活動として保育の手伝いに来る卒園児も多くいました。また、40年振りに新田の町に帰ってくると庭のケヤキの木が目にとまり、懐かしくなって訪ねてこられたという卒園児の方もおられました。先々代の園長の名前や同級生だという現在の理事役員の名前も聞かれ、保管してある歴代の『どてのこ』（卒園文集）を開きながら昔の保育園の話を伺うことができました。

私は新田保育園に就職し、今年で20年になります。就職する際こだわったのは、私立園で1法人1施設であるということ。それは、自分がそのような園で育ち、卒園後も長きに渡り自分の幼少期を知る先生方にお世話になったからです。そこに帰れば原点を知っている存在がいるということが嬉しく、こんなにも安心感につながるのだ、私もそんな存在でありたいと入職しました。けれど保育士として働いてみて数年、日々子どもたちと真剣に向き合いその時最善だと判断しても、これでよかったのだろうかと迷うことばかり。そして勤続年数はさらに重なっていきます。送り出した卒園児も年々増えていき、すくすくと成長した姿を目にする機会が増えていきました。するとどうでしょう。大きくなった子どもたちを見るだけで、悩んでいたことなど何処へやら。とにかく元気をもらい、幸せな気持ちになるひと時なのです。子どもたちを支える存在でありたいと保育士になった自分でしたが、支えられていたのはこちらの方だと気づきました。

“保育園は第2のおうち”と折に触れて言う園長のことばが、私は大好きです。大きくなっても安心して、いつでも帰ることのできる存在、そして大きくなった子どもたちと一緒に成長していける

“おうち”のような新田保育園であり続けたいと思います。 (文責：斉藤 千鶴子)



- ◆3年に1度の第三者評価を行ないます。10月3日（火）のお迎えの際に配布予定です
- ◆10月13日（金）の幼児遠足は、3月22日（金）に延期となりました
- ◆10月24日（火）4歳児りすぐみ、5歳児ぞう組のいもほりの日程が追加となります

10月	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	
		健康体育（3・4・5歳児） 頭シラミチェック			誕生会・写真の日				スポーツの日									避難訓練 健康診断（0・2歳児）	全国保育士会研究大会				ことり組個人面談週間	いもほり（4・5歳児）	冬まつり集会①	就学前配信	土手写真の日	ミニバザー			